

テルダン®小児用ドライシロップ20%

〈換算表〉 投与量はドライシロップとしての量(g)を示す

〔下表は用法・用量(1回4~8mg/kg)に基づいて計算を行った結果である。

投与にあたっては、後述の〈関連する注意〉も考慮すること。〕

年齢 目安 (才)	体重 (kg)	× 2		年齢 目安 (才)	体重 (kg)	× 2		
		1回投与量 (g)	1日投与量 (g)			1回投与量 (g)	1日投与量 (g)	
6ヶ月	8	0.16 ~ 0.32	0.32 ~ 0.64	8	25	0.50 ~ 1.00	1.00 ~ 2.00	
	9	0.18 ~ 0.36	0.36 ~ 0.72		26	0.52 ~ 1.04	1.04 ~ 2.08	
1	10	0.20 ~ 0.40	0.40 ~ 0.80		27	0.54 ~ 1.08	1.08 ~ 2.16	
	11	0.22 ~ 0.44	0.44 ~ 0.88		28	0.56 ~ 1.12	1.12 ~ 2.24	
2	12	0.24 ~ 0.48	0.48 ~ 0.96		29	0.58 ~ 1.16	1.16 ~ 2.32	
	13	0.26 ~ 0.52	0.52 ~ 1.04		30	0.60 ~ 1.20	1.20 ~ 2.40	
3	14	0.28 ~ 0.56	0.56 ~ 1.12		9	31	0.62 ~ 1.24	1.24 ~ 2.48
	15	0.30 ~ 0.60	0.60 ~ 1.20			32	0.64 ~ 1.28	1.28 ~ 2.56
4	16	0.32 ~ 0.64	0.64 ~ 1.28		10	33	0.66 ~ 1.32	1.32 ~ 2.64
	17	0.34 ~ 0.68	0.68 ~ 1.36			34	0.68 ~ 1.36	1.36 ~ 2.72
5	18	0.36 ~ 0.72	0.72 ~ 1.44		35	0.70 ~ 1.40	1.40 ~ 2.80	
	19	0.38 ~ 0.76	0.76 ~ 1.52	36	0.72 ~ 1.44	1.44 ~ 2.88		
6	20	0.40 ~ 0.80	0.80 ~ 1.60	37	0.74 ~ 1.48	1.48 ~ 2.96		
	21	0.42 ~ 0.84	0.84 ~ 1.68	38	0.76 ~ 1.52	1.52 ~ 3.04		
7	22	0.44 ~ 0.88	0.88 ~ 1.76	11	39	0.78 ~ 1.56	1.56 ~ 3.12	
	23	0.46 ~ 0.92	0.92 ~ 1.84		40	0.80 ~ 1.60	1.60 ~ 3.20	
24	0.48 ~ 0.96	0.96 ~ 1.92						

〈成分分量〉 1g中:テオフィリン 200mg

〈性状〉 白色の粉末状又は粒状で、特異な芳香があり、味は甘い

〈効能効果〉 気管支喘息、喘息性(様)気管支炎

〈用法用量〉 通常、小児にテオフィリンとして、1回4~8mg/kg(本剤20~40mg/kg)を、1日2回、朝及び就寝前に経口投与する。

なお、開始用量は年齢、症状、合併症等を考慮のうえ決定し、臨床症状等を確認しながら適宜増減する。本剤は通常、用時、水に懸濁して投与するが、顆粒のまま投与することもできる。

〈関連する注意〉

本剤投与中は、臨床症状等の観察や血中濃度のモニタリングを行うなど慎重に投与すること。なお、小児の気管支喘息に投与する場合の投与量、投与方法等については、学会のガイドライン※等、最新の情報を参考に投与すること。

※日本小児アレルギー学会：小児気管支喘息治療・管理ガイドライン2005

(1) テオフィリン1回投与量の目安(通常の用法は、1日2回投与とされている)

年齢	テオフィリン1回投与量の目安
6ヵ月未満	原則として投与しない
6ヵ月~1歳未満	3 mg/kg
1歳~2歳未満	4~5 mg/kg
2歳~15歳	4~5 mg/kg

(2) 注意すべき投与対象等

2歳以上の重症持続型の患児を除き、他剤で効果不十分な場合などに、患児の状態(発熱、痙攣等)等を十分に観察するなど適用を慎重に検討し投与する。なお、2歳未満の熱性痙攣やてんかんなどのけいれん性疾患のある児には原則として推奨されない。